

報 新 材 磨 研

2019年(平成31年) 4月15日

砥石など
一部製品

5、30%値上げ

平和テクニカ(株) 6月受注
分から

平和テクニカ(株)(本社・東京都中央区日本橋浜町、社長・小池達夫氏)は、砥粒をはじめとする原材料価格の高騰、外注加工業者の廃棄、輸送費上昇などにより、コスト引き下げへの吸収努力も限界を超えたとして、同社製品一部を六月一日受注分から五、三〇%値上げすることを明らかにした。

砥材の主原料価格は、生産国の景気変動・電力需給動向、環境対策、自国の消費需要などで変動するが、主要原材料のほとんどを輸

入に依存する日本では、市場価格は売手が中心で近年は断続的に上昇、更に石油価格の高騰で結合材も上昇しているほか、燃料費や電気料金、物流経費などの諸経費も上昇している。

この状況の中、同社では徹底したコストダウンに取り組んできたが、企業努力だけで吸収することは難しいとして、製品の品質保持と安定供給、サービス向上を図るために、価格改定の実施に踏み切るもの。

対象製品は、精密切断トイシ「トクウストイシ」(標

準品/特殊品)、「セクメントトイシ」、精密切断機「フラインカッタ」、端面研磨機「フラインリミッタ」、水性研削液「フラインクル/フラインクル21」、「フラインカッタ用標準サービスパーツ」。

なお、ダイヤモンド切断トイシ「ナストンゴールド」シリーズは対象外。